

① ウイングサイン型案内の整備

カーブミラーにウイングサイン型の案内表示を取り付け、荻窪駅周辺の公共施設や荻窪三庭園への案内・誘導を行います。(12月)



▲デザイン ▲設置イメージ

② 路面案内ステッカーの整備

道路に路面ステッカーを貼り付け、荻窪駅周辺の公共施設や荻窪三庭園への案内・誘導を行い、まち歩きをサポートします。(12月)



▲デザイン ▲設置イメージ

③ 観光案内板の整備

荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源の紹介や公共施設への案内、まち歩きを楽しんでもらえるような情報発信を行い、回遊性の向上を図ります。(11月)



▲デザイン ▲設置イメージ

④ 荻窪駅構内の案内・誘導サインの整備

荻窪駅構内の改札外の案内・誘導サインのデザインを統一し、誰にとっても分かりやすいサインを整備します。(令和6年度中)



▲整備例(荻窪駅南口エレベーター) ▲構内図デザイン



令和6・7年度 荻窪駅周辺地区のまちづくりの取組について

パネル展に関する問合せ先：03-3312-2111 (内線3382、3384)
杉並区 都市整備部 市街地整備課 荻窪まちづくり担当

令和6年12月9日の荻外荘の一般公開に合わせて、まちをより安全に回遊できるよう様々な取組を実施します。



※取組の内容や整備箇所については計画中のものであり、変更になる可能性があります。

⑤ 道路の遮熱性舗装

荻窪駅南側の駅通り補助131号線等に遮熱性舗装を整備します。遮熱性舗装はヒートアイランド対策としての効果も期待できます。



▲他自治体の整備事例：田町駅周辺

⑥ ゾーン30プラス

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保するための安全対策である、ゾーン30プラスを杉並区内で初めて整備します。(11月)



▲ゾーン30プラス 路面表示 ▲ハンブ(物理的デバイス)の設置

⑦ グリーンスローモビリティの運行

荻窪のまち巡りや買い物利用等のため、新たな移動手段であるグリーンスローモビリティ(通称:グリスロ)の本格運行を開始します。(11月)



▲荻窪での実証運行(令和6年5月)

⑧ まち歩きイベントの開催

令和6年12月上旬から令和7年1月上旬にかけて、荻窪の見どころや名所を巡るまち歩きイベント(フォトラリー)を開催します。



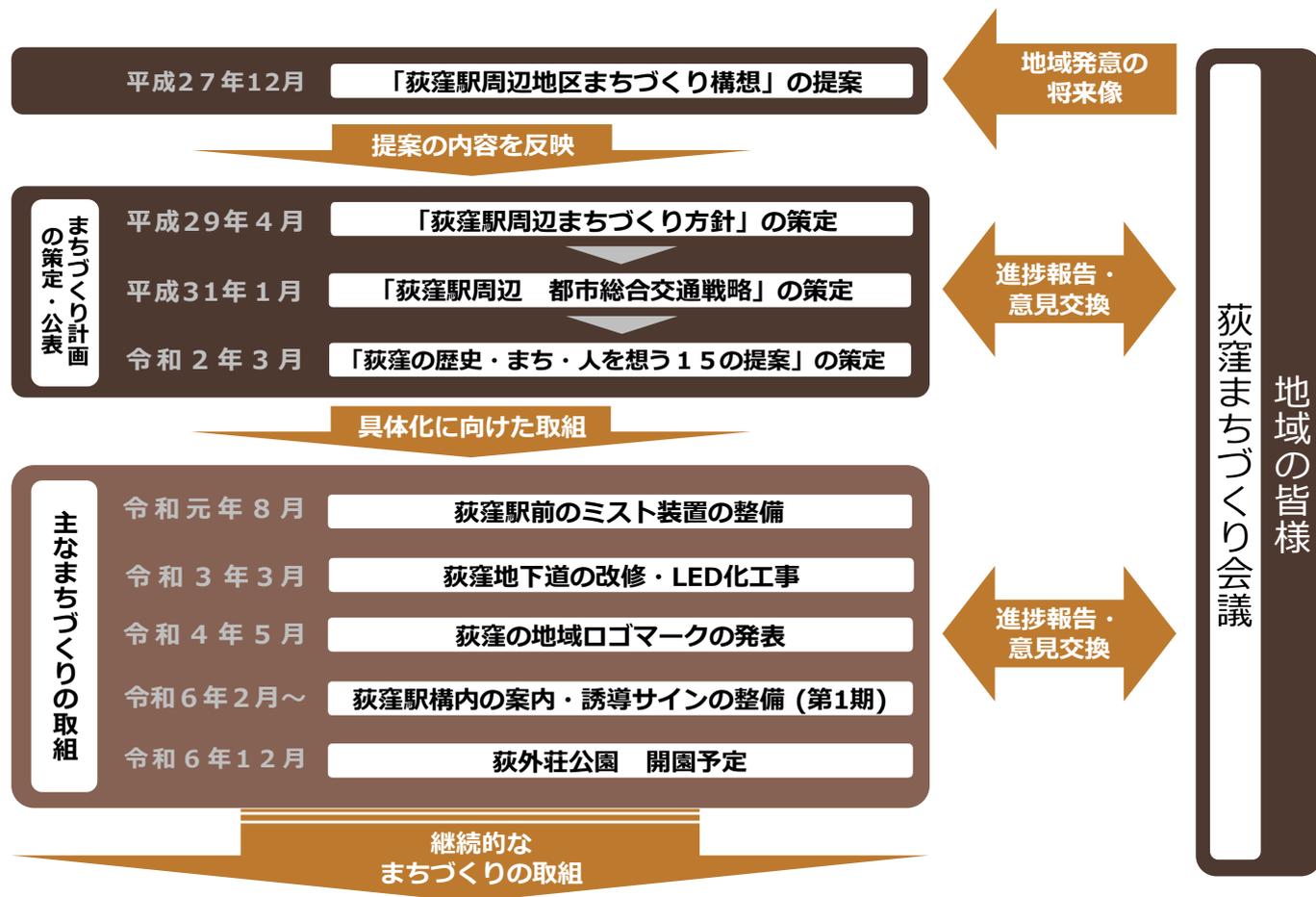
▲荻外荘



荻窪駅周辺まちづくりについて

区では、荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かしつつ、駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上などに取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和した住み続けたい、訪れたいまちを目指し、様々な取組を計画・実施しています。

荻窪駅周辺まちづくりの経緯



荻窪の地域ロゴマーク

まちが一つとなり、統一感を持ったまちづくりを進めるため、荻窪の地域ロゴマークを製作しました。このロゴマークは、誰でも自由にダウンロードや使用することができ、様々な場面で活用いただけます。



▲荻窪の地域ロゴマーク



▲使用例(ファイル、しおり等)

① ウイングサイン型案内の整備

カーブミラーなどの既存の設備に案内表示を設置します。省スペースでありながら歩行者に見やすい視線の高さに設置できるため、分かりやすい案内誘導が行えます。

ポイント

柔らかい素材でできているので、けがや破損を防止します。



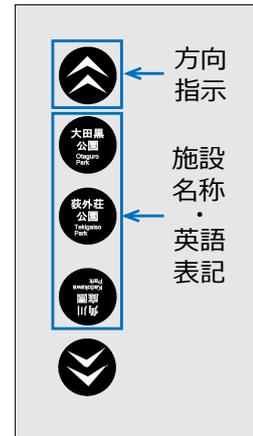
▲ウイングサイン イメージ

② 路面案内ステッカーの整備

道路に施設名称と矢印を組み合わせた案内ステッカーを貼り付け、萩窪駅周辺の公共施設や萩窪三庭園まで迷わずにたどり着ける案内誘導を行います。

ポイント

表面に凹凸があり滑りにくい素材なので雨の日でも安心して歩けます。



▲路面ステッカー イメージ

③ 観光案内板の整備

萩窪駅周辺の歴史的・文化的資源の紹介や公共施設への案内、まち歩きを楽しんでもらえるような情報発信を行う観光案内板を設置します。

令和6年度は萩窪駅南側に2箇所と萩窪三庭園に、令和7年度は大谷戸さくら緑地、読書の森公園への設置を予定しています。



▲観光案内板 デザイン



▲設置イメージ

④ 荻窪駅構内の案内・誘導サインの整備

区と交通事業者が協力し、バリアフリーや利便性向上の観点から荻窪駅全体で統一的なルールを策定し、そのルールに則って駅構内(改札外)の案内・誘導サインを整備しています。

令和5～6年度は、上下移動の重要な手段となるエレベーター周りのサインや、バリアフリー関連施設を案内する駅構内図等の整備を行います。



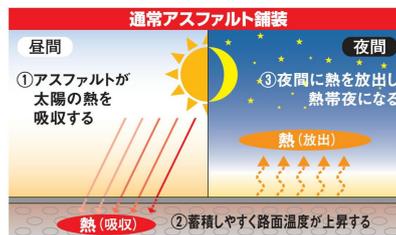
▲荻窪駅南口エレベーター (令和5年度整備)



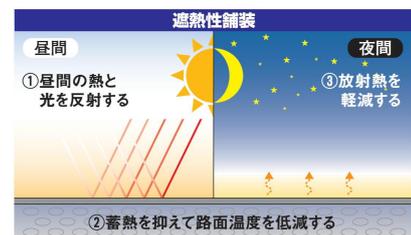
▲荻窪駅構内図 デザイン

⑤ 道路の遮熱性舗装

荻窪駅南側の駅前通り等に遮熱性舗装を整備します。アスファルト舗装の表面に赤外線を反射させる遮熱性の塗料を塗布して路面温度の上昇(蓄熱)を抑え、ヒートアイランド対策としての効果も期待できます。



路面温度が上昇 ⇒ 気温の上昇



路面温度が低減 ⇒ 気温上昇抑制

まちなか木製ベンチの設置補助 (区内全域)

杉塚区まちなか木製ベンチ等設置補助金交付事業

まちなかに木製ベンチを置きませんか

杉塚区では、まち歩きや買い物途中、誰もが自由に休憩できる木製のベンチや椅子の普及のための、設置費用を補助します。

区民参加型まちづくり活動に活用できる場所

- 商店街の空きスペース
- 店先
- 共用住宅のオープンスペース

誰もが気軽に利用できる杉塚区内の道路沿いの私有地(道路、公園及び公共施設内は対象外です。)

申請者 杉塚区内の地域団体(商店会・町会・自治会ほか) 杉塚区内の長町事業等、杉塚区民など

補助費 ベンチ・椅子の設置費用(購入、運搬及び設置に要する費用を最大5万円を上限とする。)

補助対象 令和7年3月31日までに設置完了報告がされたベンチ・椅子(本補助金は、申請に基いた補助金です。)

詳細は、裏面へ



▲荻窪清水教会 ベンチ設置例

区では、まちなかに誰もが自由に座って休憩できる木製ベンチや椅子を普及させるため、ベンチ等の設置費用の一部を補助しています。

この取組は、令和6年度区民参加型予算事業として区民の皆様から選んでいただき実施しており、荻窪地域に限らず区内全域を対象としています。

⑥ ゾーン30プラス

【ゾーン30プラスとは】
 最高速度30km/hの区域規制（ゾーン30）と物理的デバイスとの適切な組み合わせにより交通安全の向上を図る区域のことです。

警察による低速度規制
ゾーン30

+

ゾーン30
 最高速度30km/hの
 区域規制

道路管理者による物理的デバイス設置

(進)入抑制対策

ライジングボラード

ポールを昇降させ、交通規制が実施されている時間帯等の車両の進入を抑制する構造物です。

狭さく

車道の通行部分を局所的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物です。

(速)度抑制対策

ハンプ

路面をなめらかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物です。

シケイン(クランク型)

一定区間の道路を直線的に屈曲させ、車両の速度を抑制する構造物です。

スムーズ横断歩道

車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道を組み合わせた構造物です。

シケイン(スラローム型)

一定区間の道路をカーブさせ、車両の速度を抑制する構造物です。

ゾーン30プラス

看板

〈ゾーン30プラスの入口(岐阜県各務原市の例)〉

=

ゾーン30プラス

(進)入抑制対策

(速)度抑制対策

ゾーン30プラス

路面表示

2024年11月より

荻窪駅南側地域で

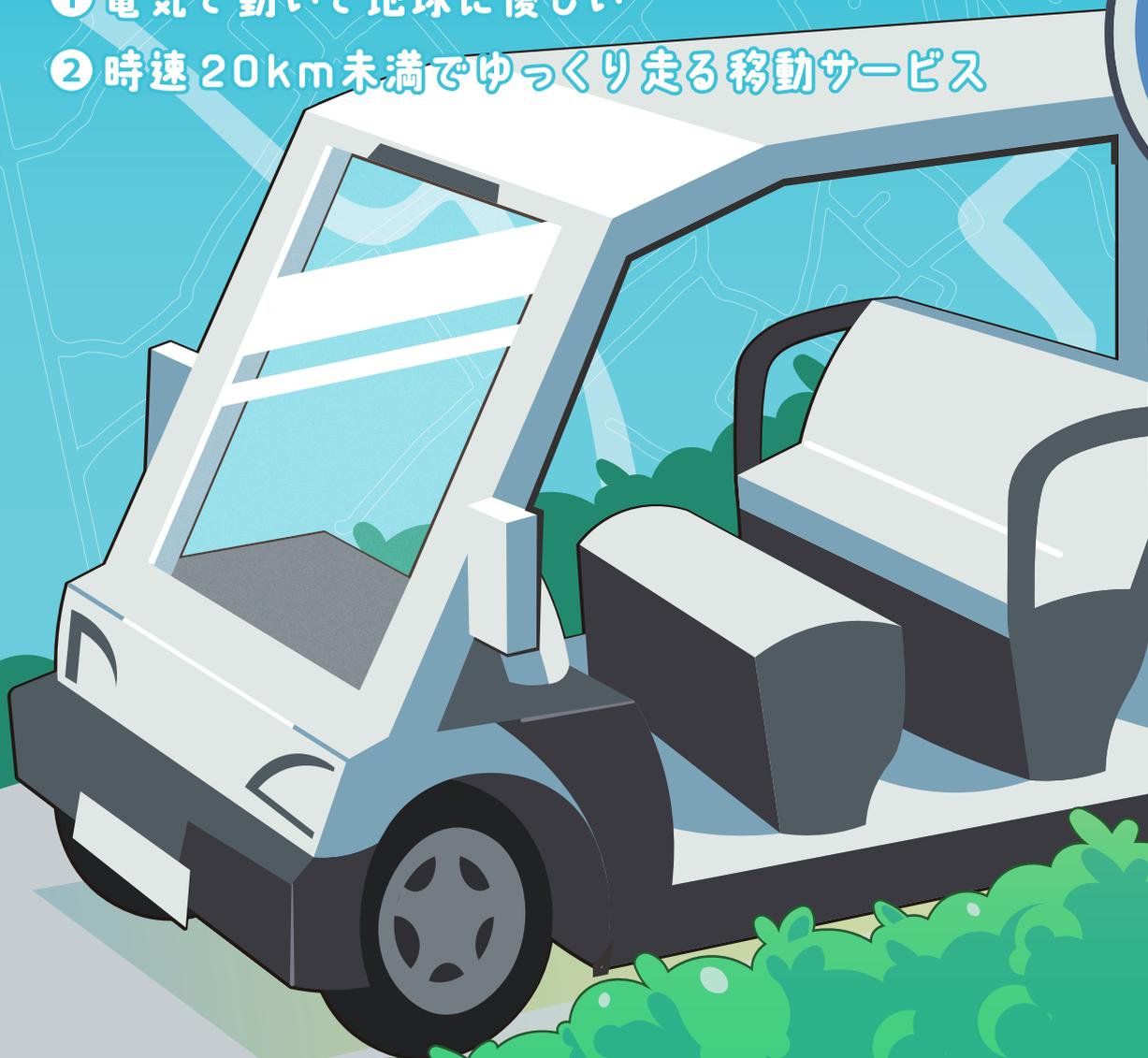
グリーン

スローモビリティ

が本格運用します!

グリーンスローモビリティ(グリスロ)とは

- ① 電気で動いて地球に優しい
- ② 時速20km未満でゆっくり走る移動サービス



運営事業者 キャピタルモータース(株) お問い合わせ先 杉並区都市整備部管理課交通企画係

DESIGN: 女子美術大学デザインルーム 江瀬瑠生

グリーンスローモビリティ 実証運行の結果について

杉並区では令和6年5月27日から8月31日まで荻窪駅南側地域において、グリーンスローモビリティの実証運行を実施しました。

運行期間 令和6年5月27日（月）～8月31日（土）

運行時間

① 9:30～17:00 ※1台運行
(5月、6月、7月(平日))

② 9:00～17:00 ※2台運行
(7月(土日祝日)、8月)



運行ルート・停留所

- 1 荻窪駅西口
(荻窪 5-31)
- 2 大田黒公園
(荻窪 3-33)
- 3 荻外荘公園
(荻窪 2-40)
- 4 桃井第二小学校
(荻窪 5-10-25)



乗車結果

		5月	6月	7月	8月	総合計
乗車人数（未就学児を除く）		89	704	839	1,141	2,773
1日の 平均乗車人数	全日	18	23	27	39	29
	平日	18	16	17	35	23
	土日祝日		38	52	48	46

